

【海水浴場等利用者の行動例】

(厚生労働省の「新しい生活様式」の実践例」を参考)

ア 海水浴場への往復

- 海水浴場へ行く前に体温測定など、健康をチェックする。
- 体調がすぐれないときには、海水浴場に行かない。
- 公共交通機関で移動するときは、すいている時間を選び、会話は控えめにする。
- ソーシャルディスタンスを確保する。
- 咳エチケットを徹底する。
- 乗り物の中では、グループの人たちと対面でなく横並びで座る。
- 海水浴場が閉まった後は、速やかに帰宅する。
- 途中で買い物等するときは、少人数で行う。
- 海水浴場の近隣住民に感染を拡げないように、ごみは適切に処理する。(密閉して縛る)
- 家に帰ったらできるだけすぐにシャワーを浴びて着替える。
- 手洗いは30秒程度かけて、水とせっけんで丁寧に洗う。

イ 海水浴場

- ソーシャルディスタンスを確保する。
- 咳エチケットを徹底する。
- グループの人たちとは対面でなく横並びで座る。
- 砂浜で食事するときも、食事の前に手洗い、手指消毒をする。
- 帰る前は手洗いを実施し、シャワーを浴びる。
- ごみは感染防止の観点から、密閉して持ち帰るなど、適切に処理する。
- テントを使用する際は、隣にも配慮し、密接等にならないよう気を付ける。

ウ 海の家等

- 更衣室での着替えはすみやかに、少人数ですいた時間に行う。
- レジに並ぶときは、前後に十分なスペースを取る。
- 入口では手指消毒を行い、食事の前には手洗いを行う。
- 多人数での会食は避ける。
- 対面ではなく横並びで座る。
- 会話は控えめにする。
- グラスなどの回し飲みは避ける。
- 売店等を利用する際は、マスク着用を心がける。

エ トイレ

- トイレ使用後は、蓋を閉めて流す。
- トイレ使用後は、手洗いと手指消毒をする。

※ 過去2週間以内の体調不良者、海外からの帰国・入国者ならびに、新型コロナウイルス感染症に関わる健康観察対象者、自宅療養中の方は来場を控えてください。